

(行政報告)

地域レジリエンス事業による太陽光発電設備等の稼働開始について

生活経済部

本市では、令和5年6月の議会定例会において、2050年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを実現するための取組を推進していく「ゼロカーボンシティ宣言」を行っております。

こうした中、温室効果ガスの削減目標を達成するための施策として、国庫補助事業である「地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業」を活用し、災害時に災害対策本部の代替施設及び避難所となる市内7か所の公共施設に太陽光発電設備及び蓄電池を設置いたしました。

本事業で設置いたしました7か所のうち、生涯学習センター〔こもれびの森〕、南小学校、西小学校、白岡東小学校、篠津中学校、南中学校の6か所につきましては、令和8年5月から本格的な運用を開始したところでございます。

また、保健福祉総合センター（はびすしらおか）につきましては、令和8年度中の運用開始を予定しております。

市といたしましては、引き続き、ゼロカーボンシティの実現に向け、重点対策加速化事業を活用した公共施設への太陽光発電設備等の設置を進めるとともに、各種施策を推進してまいります。